

佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会 総務部会
令和5年度 第1回会議 次 第

令和5年7月6日（木）午後6時30分
佐野市立西中学校 ~~多目的ルーム~~
第2理科室

1 開 会

2 出席者紹介（自己紹介）

3 概要説明 資料1 資料2 資料3

4 部会長及び副部会長の選任について

5 議題

（1）総務部会の進め方について 資料4

（2）校名について 資料5

（3）その他

6 閉 会

令和5年度 佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会
総務部会 名簿

(敬称略)

No	氏 名	役 職	関係校	備 考
1		大橋町（東部）町会長	天明小	
2		七軒町町会長	植野小	
3		小中町（西）町会長	旗川小	
4		高橋町町会長	吾妻小	
5		PTA副会長	天明小	
6		PTA本部役員	天明小	
7		PTA監事	植野小	
8		PTA副会長	植野小	
9		PTA副会長	旗川小	
10		PTA副会長	旗川小	
11		PTA副会長	吾妻小	
12		PTA副会長	吾妻小	
13		PTA本部役員	西中	
14		PTA本部役員	西中	
15		校長	天明小	
16		校長	植野小	
17		校長	旗川小	
18		校長	吾妻小	
19		校長	西中	
20		教育総務課 総務係長	市教委	
21		学校教育課 指導係長	市教委	
22		学校教育課 指導主事	市教委	

【義務教育学校とは】

学校教育法の改正を受けて平成28（2016）年度から設置可能となった、小学校6年間、中学校3年間の義務教育を、9年間の一貫したカリキュラムで運営する新たな学校種のこと。

【メリット】

「中1ギャップ」の解消

⇒9年間の一貫教育となることで、小学校から中学校への進学という大きな環境変化（「中1ギャップ」）による不登校や成績不振などの解消が期待される。

学校教育の選択肢が広がる

⇒「学年段階の区切りの柔軟な設定」や「小中教員の相互乗り入れ指導」、「小学校高学年の教科担任制導入」など、児童生徒や地域の実情に合わせて学校教育の選択肢が広がる。

【デメリット】

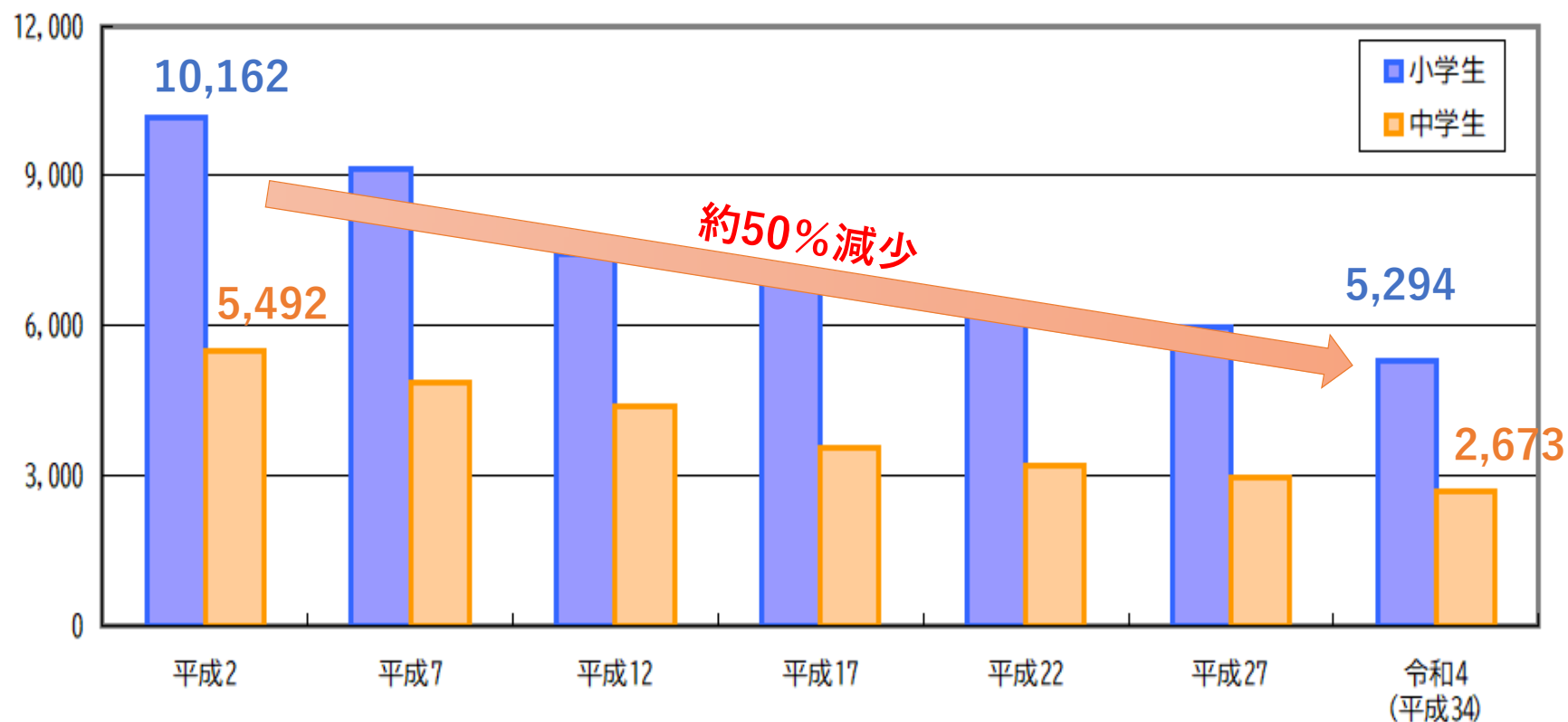
人間関係が固定化しやすい

⇒学校環境の大きな変化がなくなることにより、人間（友達）関係が固定化しやすい。

【佐野市における学校教育の現状と課題】

少子化の進行による児童・生徒数の減少

全国的に少子化が進む中、佐野市においても児童・生徒数の減少による小・中学校の小規模化が進行している。



●西中学校区市立学校の児童生徒数推移（現在の小学校区での推計値）

※天明小には城東中学校区、植野小には南中学校区の児童を含む

R5. 4. 1現在住基データより作成

学校名		6年	5年	4年	3年	2年	1年	R6 入学	R7 入学	R8 入学	R9 入学	R10 入学	R11 入学
天明小学校	人数	77	57	54	42	73	46	60	47	54	47	45	47
	学級	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2
植野小学校	人数	145	134	145	152	150	147	120	138	109	117	110	98
	学級	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3
旗川小学校	人数	28	20	26	20	30	21	23	19	21	27	20	21
	学級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
吾妻小学校	人数	11	18	10	18	6	4	14	7	4	6	6	6
	学級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西中学校	人数	—	—	—	138	120	143	141	125	118	118	132	108
	学級	—	—	—	4	4	5	5	4	4	4	4	4

※ 2つの学年を合わせて16人以下の場合、複式学級（1年生を含む場合8人以下）



全体的に減少傾向にあり、吾妻小学校ではR 6年度から複式学級となる見込み

学校小規模化による影響

小規模校のメリットとして

- 先生が目が行き届きやすい
- 一人一人の活動機会が多くなりやすい など



一方、デメリットとして

「児童生徒」

- ・社会性やコミュニケーション能力を身に付ける機会が少ない
- ・同級生との切磋琢磨により意欲や成長が引き出される機会が少ない
- ・多様な見方や考え方に触れる機会が少ない

など

「学校運営」

- ・クラス替えができず人間関係が固定化しやすい
- ・集団行事の実施が制約される
- ・部活動の種類が限定される
- ・授業で多様な考えを引き出すことが難しい

など

学校施設の老朽化

小・中学校の校舎の多くが築40年～50年経過しており、引き続き充実した教育活動を十分に展開していくため、大規模な施設改修等が必要となっている。

令和元年調査時点

施設名	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点)
天明小学校（校舎）	50	D	C	C	C	C	37
植野小学校（校舎）	47	D	C	C	C	C	37
旗川小学校（校舎）	47	C	D	C	C	C	31
吾妻小学校（校舎）	38	C	C	C	B	C	45
佐野西中学校（校舎）	40	C	D	C	C	C	31

※施設部位別にA～Dの4段階評価、総合評価として健全度を100点満点で評価

評価基準

A	良好	B	劣化(部分的)	C	劣化(広範囲)	D	要対応
---	----	---	---------	---	---------	---	-----

【本市の学校施設適正化計画について】

佐野市立小中学校適正規模・適正配置 基本計画（前期計画）

平成27年1月
計画期間：2014～2022年度

「複式学級の解消」をテーマとして、葛生地区および田沼西地区における施設一体型小中一貫校の整備方針を定める

佐野市立小中学校適正規模・適正配置 基本計画（後期計画）

令和元年8月
計画期間：2023～2047年度

「複式学級の解消」「施設老朽化への対策」「適正規模基準に基づいた通学区域の設定」をテーマとして、市内の小中学校を将来的に施設一体型義務教育学校とし、より一層の小中一貫教育を推進することを定める

佐野市立小中学校適正規模・適正配置 基本計画（後期計画）

実施計画（Ⅰ期）

令和4年1月
計画期間：2023～2029年度

後期計画の方針に基づき、2023～2029年度を実施計画期間（Ⅰ期）とし、佐野西中学校区および城東中学校区義務教育学校の整備方針を定める

【適正規模・適正配置の基本的な考え方と基準】

▶ クラス替えができること

多様な考えに触れ、同級生と切磋琢磨しながら学習できる環境を整備

▶ 多様な選択ができること

部活動や集団行動など、教育活動における選択の幅を広げる

▶ 適切な教員配置ができること

教科ごとにバランスのとれた教員配置により、充実した教育環境を整備

▶ 設備等が円滑に利用できること

児童・生徒数の適正化により、施設や設備利用における制限を解消

佐野市における適正規模の基準

- ①小学校は原則 6 ～ 1 8 学級（国の基準では 1 2 ～ 1 8 学級）
- ②中学校は原則 9 ～ 1 8 学級（国の基準では 1 2 ～ 1 8 学級）
- ③ 1 学級は 1 6 人を下限

佐野市における適正配置の基準

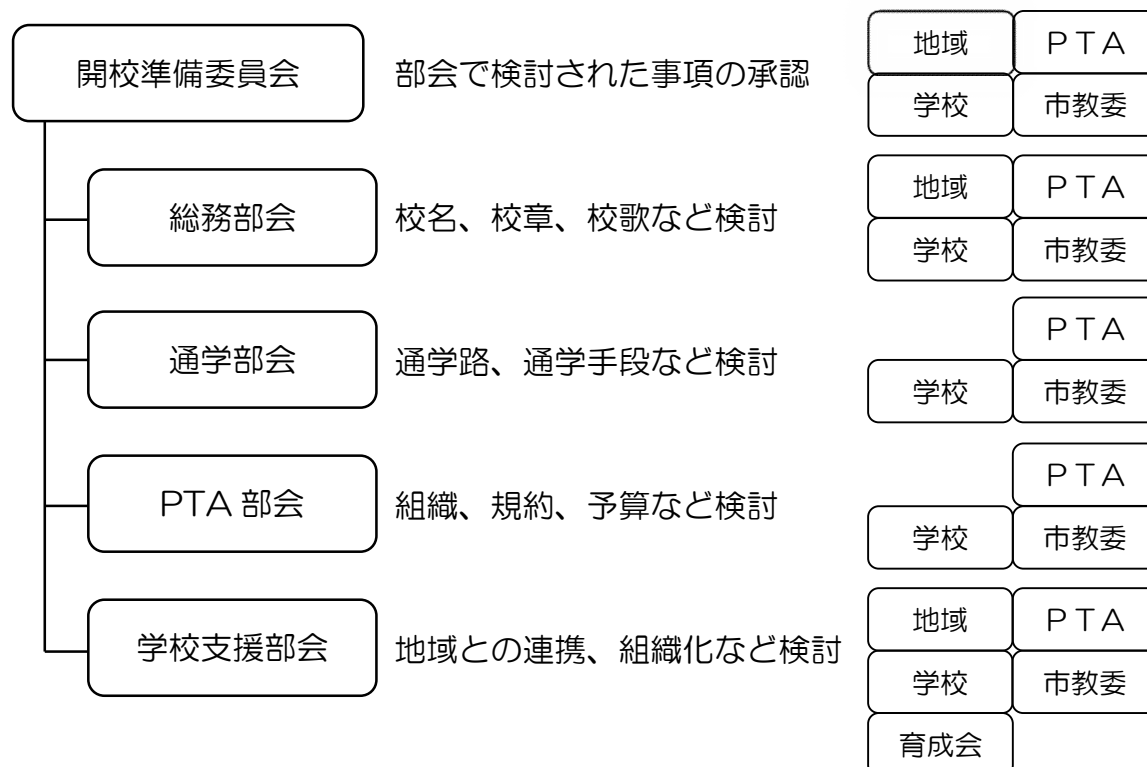
- ①小学校の通学距離…概ね 4 km以内
- ②中学校の通学距離…概ね 6 km以内
- ※具体的な通学方法は「開校準備委員会」にて検討

佐野市西中学校区小中一貫校の実施体制について

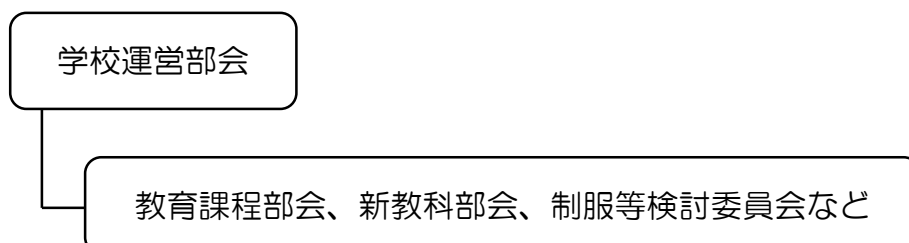
1 実施体制

(1) 学校運営（ソフト面）

- ・開校準備委員会を組織して協議、決定していく
- ・開校準備委員会の下に部会を設置し、細部を検討する
例）校名、校歌、通学関係、PTA組織、地域支援体制など



- ・学校運営に係る専門的、教育内容的な部分は、教職員等の組織で検討
例）教育理念・目標、日課表、新教科検討、学校行事、制服など



(2) 施設整備（ハード面）

- ・学校側と整備内容の調整を図りながら、市及び市教委で検討、推進していく

佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会専門部会設置方針

1 趣旨

この方針は、佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会設置要綱第7条に規定する佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会（以下「委員会」という。）の専門部会（以下「部会」という。）の設置、運営に関したものを定める。

2 部会の種類及び所掌事務

部会の種類及び所掌事務は、次のとおりとする。

部会名	所掌事務
総務部会	小中一貫校の名称、校旗、校章、校歌、および開校に係る記念事業等に関すること。
通学部会	通学路、スクールバス、通学関連施設等に関すること。
P T A部会	P T A組織運営（組織、規約・役員、予算、事業内容等）に関すること。
学校支援部会	学校と地域との連携、学校支援地域組織の検討及び組織等に関すること。

3 部会の組織

部会の組織は、次のとおりとする。

（１）各部会の部員（以下「部会員」という。）は次のうちから、委員会の委員長（以下「委員長」という。）が委嘱する。

部会名	部 会 員
総務部会	地域の代表者、小中学校 P T A 小中学校教職員、佐野市教育委員会
通学部会	小中学校 P T A 小中学校教職員、佐野市教育委員会
P T A部会	小中学校 P T A 小中学校教職員、佐野市教育委員会
学校支援部会	地域の代表者、小中学校 P T A、育成会 小中学校教職員、佐野市教育委員会

（２）部会に部会長１名及び副部会長を若干名置く。

（３）部会長は、部会員の互選により定める。

（４）副部会長は、部会長が指名する。

（５）部会長は、部会を代表し、部会の会議（以下「部会会議」という。）を整理し、部会会議の議長となる。

（６）副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるとき又は欠けたときは、その

職務を代理する。

(7) 部会会議は、部会長が招集する。ただし、1回目の部会会議は、委員長が招集する。

(8) 各部会の事務局は、次のとおりとする。

総務部会：学校適正配置課 適正配置推進係

通学部会：学校適正配置課 適正配置推進係

P T A部会：生涯学習課 社会教育係

学校支援部会：生涯学習課 社会教育係

(9) 部会に関する庶務は、事務局が担当することとする。

4 その他

(1) 部会の設置及び部員の構成等については、必要に応じて委員会で調整できるものとする。

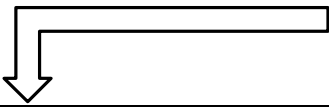
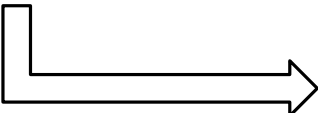
(2) この方針に定めるもののほか、部会の運営等に関し必要な事項は、部会長がその都度部会会議に諮って、定める。

総務部会の進め方について

1 令和5年度の予定

○検討項目＝西中学校区小中一貫校 校名(案)の選定

○スケジュール等概要

総務部会	(参考) 開校準備委員会
	令和5年6月26日(月) 開催 ・概要説明 ・専門部会設置について
令和5年7月6日(木) 開催 ・概要説明 ・校名について(選定方法の検討)	
令和5年9～10月ごろ(予定) ・校名について(校名(案)の選定)	
令和6年1～2月ごろ(予定) ・校名について(校名(案)の選定)	
	令和6年2～3月ごろ(予定) ・校名について(校名(案)最終選定)

※現時点での見通しとなりますので、今後変更となることがあります

2 令和6年度(以降)の予定

○検討項目＝校章・校旗について
校歌について
記念式典等について

○ 佐野市の実例

校名	形態	統合校数	所在地	開校	校名についての経過、意見等
佐野市立あそ野学園 義務教育学校	施設一体型 義務教育学校	7小学校 1中学校	佐野市	R2.4	校名(案)について、学区内の児童生徒、保護者、住民から募集。 (87件応募) 「あそ野」は田沼西中の文集にも使われ、歴史を感じる。 小学校でも中学校でもない学校という意味で「学園」を付ける。 どの閉校となる学校も、校名を残したい思いは同じ。ならば新校名がよい。
佐野市立 葛生義務教育学校	施設一体型 義務教育学校	4小学校 2中学校	佐野市	R5.4	校名(案)について、学区内の児童生徒、保護者、住民から募集。 (59件応募) 旧葛生町の名前を残す、また旧葛生町全体が集まった学校ということで「葛生」がよい。 後期課程の生徒や部活のことを考え、(ひらがなでなく漢字で)「葛生」がよい。

○ 他自治体の実例

校名	形態	統合校数	所在地	開校	校名についての経過、意見等
那須塩原市立 箒根学園 (※読み方は「ほう きねがくえん」)	施設一体型 義務教育学校	3小学校 1中学校	栃木県 那須塩原市	R5.4	校名(案)について、市内在住、通勤、通学者、該当校OBから募集。 (443件応募) 応募内容を見ると、地域の名称に強い思いが感じられる。 「箒根学園」は新しい教育の場というイメージを出せる。短くて言いやすく書きやすい。
小美玉市立 小川北義務教育学校	施設一体型 義務教育学校	3小学校 1中学校	茨城県 小美玉市	R4.4	校名(案)について、学区内の児童生徒、保護者、住民、当該校OBから募集。 (402件応募(有効391件)) 準備委員会で5件校名候補を選定し、うち1件を選択、または別名を自由記述 地元に馴染みのある名称である。 郷土愛が生まれる。 「小川南中学校」があり、釣り合いがとれるのではないかと。

西中学校区小中一貫校の校名(案)を募集します

平成28年4月の学校教育法改正により、従来の小学校・中学校のほかに、小中一貫教育を実施する「義務教育学校」を設置することができるようになりました。

西中学校区小中一貫校は、「義務教育学校」として設置する準備を進めています。そこで、この新しい学校について、みなさまから校名(案)を募集します。

1 校名(案)の応募方法

(1) 応募できる方

令和5年4月1日現在で、天明小、植野小、旗川小、吾妻小、西中に通学している児童生徒、その保護者、および、西中学校区にお住まいの方

(2) 応募期限

令和5年9月7日(木)(必着) ※スマートフォン等からの応募は7日 24:00まで

(3) 応募方法

①二次元コードを利用したWebフォームからの応募(スマートフォン等)

②応募用紙による直接または郵送での応募

※①②どちらの方法とも、お一人様一回の応募とします

※インターネット接続等にかかる通信料や郵送料など応募に要する費用は、応募される方のご負担となりますので、申し訳ありませんが、ご承知おきください

【直接提出する場合】

- ・佐野市役所総合案内(市役所1階)：平日、土日、祝日とも 8:30～17:15
- ・学校適正配置課窓口(市役所3階)：平日のみ 8:30～17:15
- ・中央公民館、植野地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館：平日のみ 9:00～17:00

【郵送する場合】

〒327-8501 佐野市高砂町1番地 佐野市教育委員会 学校適正配置課 あて

2 校名決定までの手順

ご応募いただいた校名(案)をもとに、学校が立地する地域の歴史性や特色、市立学校の名称としてのふさわしさ、わかりやすさ、親しみやすさ等を総合的に考慮して、「佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会」において校名(案)を選定し、佐野市教育委員会の決定、佐野市議会の議決を経て、最終的に決定します。

お問い合わせ先

佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会事務局
(佐野市教育委員会学校適正配置課)
TEL 0283-85-7304
E-mail gakkoutekisei@city.sano.lg.jp

新校名応募用紙(コピー可)



1 応募者について

(1) 応募される方が現在お住まいの小学校区を○でかこんでください

ア：天明小 イ：植野小 ウ：旗川小 エ：吾妻小

(2) 応募される方が該当するところを○でかこんでください

a：児童または生徒 b：児童生徒の保護者 c：左記のほか西中学校区にお住まいの方

2 校名(案)について

市立学校としての統一性を考慮し、校名(案)は次の形式で募集します。

の枠内に校名(案)をご記入ください。

(例： あそ野学園 葛生 など。漢字、かな、文字数は自由です。)

佐野市立

義務教育学校

3 校名(案)の理由

この校名(案)にしたい理由、思いなどを自由にお書きください。

○注意事項

Web上、応募用紙とも、お一人様一回の応募とします

※開校準備委員会で様々な観点から検討しますので、必ずしも同一の名称の応募が多いことにより選定されとは限りません。

○応募用二次元コード

Webフォームから応募をされる方は、
右のコードをご利用ください。

<注 意>

Webフォーム提供元のシステムメンテナンスのため、アクセス、
回答ができないことがあります。ご注意ください。

令和5年7月26日(水) 22:00～

7月27日(木) 5:00の間



サンプル